

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

うみ

つばめ

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井映禱

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町23番地5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

提言

私は本年1月の石心会グループ経営会議で、今後5年間の川崎幸病院の利益を60億円（年間12億円）と宣言しました。ちなみに2016年の利益は5億円、2017年は2億1000万円です。しかし、これだけは言っておきたいのですが、利益は私たちの目的でもゴールでもありません。

病院の利益は、あくまで医療を実践した成果の一形態にすぎず、その利益は将来に使うべきコストです。つまり、より良い医療を実践し、社会に貢献した結果として利益が発生し、その利益を使って職員や病院設備をさらに充実させること、そしてつまるところ、理想の続・川崎幸病院を作るとするのがこれからの“私たちのビジョン”です。このような病院をビジョナリー・ホスピタル（ビジョンのある未来志向の病院）と呼びます。

まず、今の川崎幸病院がビジョナリー・ホスピタルになるためには、診療部のアクティビティを大幅に上げることが必要と考え、すべての診療科にかなりハードルの高い成果目標を設定してもらいました。

それを達成する条件としては、土曜・祝日を平日化（つまり通常業務を行う）することを決め、実行しました。さらに来年4月からは、職員の休みは減らすことなく日曜も平日化する決意です。この平日化が実現すれば、年間

川崎幸病院・私の病院改革〈上〉

山本晋

川崎幸病院院長

におよそ100日分（！）の手術枠が増えることになります。

ビジョナリー・ホスピタルを実現するには、診療部のみでなく全職員が「変わる」ことが必要です。

しかし、新規の入院患者数や手術件数を2倍にするために職員数を2倍にすることはできません。そもそも狭い川崎幸病院にはそれだけの職員の居場所はなく、人件費が2倍になったのでは利益どころか病院全体が赤字になり、先のビジョンを実現することは不可能となります。そこで、病院の全職員（医師・看護師・薬剤師・コメディカル・事務職員等々）にまず取り組んでもらいたいこと、それはズバリ、“生産性の向上”です。

無駄な仕事はしない

生産性を向上させるために最初にすべきことは、「無駄な仕事はしない」です。

無駄な仕事とは、①他の業務で代用できる、②やらなくても大きな問題が生じない、という仕事です。

例えば一人の病棟クランクがいます。彼女の



仕事は20人の新規入院患者の事務処理ですが、その業務の合間に5階の印刷室にこもって病棟で使う書類のコピーを延々としたり、退院した患者の紙カルテの順番を並べ替えて白ヒモで閉じたり、医者からの依頼電話を受けて他の医者を病棟じゅう探し回ったり……。これらは全て“無駄な仕事”と断言できます。なぜなら、書類のコピーは担当者がまとめてすれば済むし、白ヒモ閉じは電カルを整備して紙カルテを廃止すればなくなるし、医者探しは「自分でPHSに電話して下さい」と言ったところで大きな問題にはなりません。

勇気を持って無駄な仕事はやめるべく、知恵を絞ってください。

業務効率を上げる

生産性を向上させるために次にすべきことは、「業務効率を上げる」です。

心がけることは時間を意識することです。川崎幸病院ではこれまでの会議や委員会の多くは1時間を基本でしたが、これらを例外なく30分以内としました。

討議内容が多く時間が不足すると予想される場合には、参加者に会議の要旨あるいは討議内容を事前通知するなどの対策をとり、効率を上げました。この結果、会議は連絡会議または検討会議に大別され、病院運営連絡会議に至っては毎回全ての連絡事項が周知されることによって、わずか10分程度で会議が終了することになりました。

成果を確認する

そして最後に忘れてはならないことは、生産性を向上させる取り組みを行った結果がどうなったか、つまり「成果の確認」をすることです。

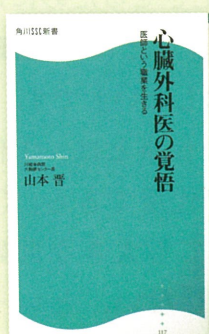
さきほどのクラークを例にとれば、20人の入院事務処理が半分の時間で終わった……。会議であれば1時間かかっていたものが10分で終わった……。という“成果”を必ず確認してください。生産性向上の取り組みを行っても、その成果が得られなければ、それは何もしないのと同じことなのです。

最終目標は社会貢献

これからの川崎幸病院は激変が予想されます。診療科のアクティビティは急上昇し、看護業務はドンドン増えます。コメディ、薬剤部、事務部の業務は倍増します。

「今でも精一杯なのに、そんなのムリ！」という不満が噴出します。もちろん、今のままでは絶対に無理です。生産性を向上させなければ絶対に無理です。職員一人一人が自分の業務を徹底的に見直す必要があります。

①無駄な仕事をやめ、②業務効率を上げ、③生産性の向上という“成果”を出す。これに本気で取り組めば、職員の業務は今よりも楽になり、残業はなくなる一方で、ビジョナリー・ホスピタルが実現し、私たち石心会はさらに多くの社会貢献をすることができるのです。



『心臓外科医の覚悟』

医師という職業を生きる

山本 晋 著
角川 SSC 新書
定価 780 円 + 税

本書は、山本院長が、2011年に上梓したものです。著者が医師の道を選び、救急救命から心臓外科医になり、川崎幸病院の川崎大動脈センター開設に至るまで書かれています。

本書は、よくある、「功なり名遂げる」医師の

話ではありません。それは「はじめに」で、いきなり医師の仕事について柳宗悦^{ひねよし}の『手仕事の日本』（岩波文庫）からの引用をしていることにあらわされています。

柳宗悦は無名の職人たちがつくる道具の「用の美」を取り上げ、その仕事を「民藝」としてまで高く評価した人です。医療という仕事に取り組むことがどのようなことか、一人の日本人の医師が作り上げている立ち位置が見えてきます。



なぜ？
ヒポクラテスが
あんな所に

京都の夏。じめじめと湿気が強く、関東に暮らす人には耐えきれないほどと言ってもいいくらいです。その京都の夏を彩るのは八坂神社の祇園祭です。

東京・神田明神の神田祭、大阪天満宮の天神祭、それに祇園祭が日本の三大祭と呼ばれるそうです。その中でもっとも古い祭りが祇園祭です。

祇園祭は祇園御霊会と呼ばれていました。御霊会の始まりは、平安時代で、疫病の大流行があり、疫神や死者の怨霊を鎮めなだめるためでした。平安時代の人々は、疫病とは恨みを現世に残して亡くなった人々の怨霊の祟りだと考えていたのです。

平安京は盆地で高温多湿で、人口が集中し、上下水道が整備できていないので汚水と飲料水が混合するなど、疫病の原因がたくさんありました。マラリア、天然痘、インフルエンザ、赤痢、麻疹などが大流行しました。

864年、富士山の大噴火があり、溶岩が大量に流出しました。869年には陸奥で貞観地震が起きました。津波も起きて多数の犠牲者が出ました。東北大震災を経験した私たちですが、病気や自然に対してまったく無防備な当時を想像すると、その恐怖は計り知れないものがあつたと想像できます。そうして社会不安が深刻化していきました。

そのため、諸国の穢れを祓い、牛頭天王を祀り御霊会を執り行ったのです。869年の御霊会が祇園祭の始まりで、祭礼の名も「祇園御霊会」となりました。明治維新の神仏分離令によって神社名が八坂神社となり、祭礼名も「祇園祭」に変更されました。

真夏の祭となったのは、真夏に多くの感染症が流行し、多くの人々が亡くなったことによります。

今の祇園祭は7月1日に始まり、宵山や山鉦の巡行などの行事を挟んで、31日の八坂神社内にある疫神社による夏越祭で終わります。

鳥居に取り付けられた茅輪をくぐり、護符を受けます。疫神社による夏越祭というのは、いかに祇園祭が厄病除けという人々の願いが込められているのかが分かります。

神社に祀られたヒポクラテス

大阪には道修町という薬屋の町があり、今でも製薬企業のビルが連なっていますが、京都にも薬屋町という名前があります。その近くの二条通の商店街には、薬祖神祠と名づけられた、ほんとうに小さな神社が



京都・薬祖神祠

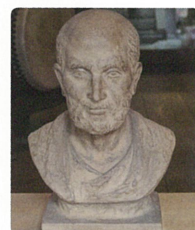
あります。祭神の一人は少彦名命で、^{すくなひこなのみこと}大国主の国造りの協力神、医薬・温泉・^{まじない}禁厭・穀物・知識・酒造・石を^{つかさど}司る神とされています。大阪、道修町にも少名彦神社があり、通称で神農さんと呼ばれています。

京都の薬祖神祠は江戸時代の1858年に創建され、1906年に現在地に移されました。

この神社にも、古代中国の伝承の皇帝、神農が祀られています。医薬と農業を司る神です。ここまでは理解できるのですが、何と、古代ギリシャの医師であるヒポクラテスも祀られているのです。ご存じのとおり、西洋医学の基礎を築き、医師の倫理を教え、医学の父と称されています。

ガラス戸に遮られた神社の開口部には、たしかにヒポクラテスの胸像が置かれていました。どうして、このようになったのか分かりませんが、商人たちの誰彼構わないどん欲な神頼みに、思わず笑ってしまうこと間違いなしです。

人々の健康を望む願いは、さまざまな形を残しながら、近代化された都市の街角や行事に残されていることを忘れたくありませんね。



薬祖神祠に祀られているヒポクラテスの胸像

石心会カレンダー

		神奈川地区	埼玉地区	
6月	20日 水	6月20日(水) 救急隊勉強会(腹部救急について:消化器内科)	6月21日(木) 看護部院内研修 ジュニアI	
	21日 木			
	22日 金		6月22日(金) 第4回 埼玉西部 地区救急医療連 携会 主催:埼玉石心会 病院 救急・総合診 療科	
	23日 土			
	24日 日			
	25日 月	6月25日(月) 地域医療連携セミ ナー 講演:小柳俊哉・ 心臓血管センター 長、星多恵絵子・ メニースターズ代 表、坂本智浩・済 生会熊本病院心 臓血管センター/ 循環器内科部長 会場:埼玉石心会 病院	6月27日(水) 救急隊勉強会(腹部救急について:消化器内科)	
	26日 火		6月28日(木) 看護部院内研修 プリセプター研修	
	27日 水			
	28日 木			
	29日 金			
7月	30日 土			愛染まつり(大阪市 四天王寺・〜7/2)
	1日 日			祇園祭(京都市 八坂神社・〜31)
	2日 月			
	3日 火	7月3日(火) 看護部院内研修 ヘルパー研修	7月2日(月) 看護部研修 フレッシュナース Summer研修I	
	4日 水		7月3~4日(火・水) 看護部研修 看護提供システ ムPNS研修 講演:福井大学病 院 上山香代子	
	5日 木			
	6日 金			湘南ひらつか七夕まつり(神奈川県平塚市) 入谷朝顔まつり(東京都台東区 入谷鬼子母神・〜8)
	7日 土	7月7日(土) うるおいコンサ ート		
	8日 日			
	9日 月			四万六千日(ほおずき市)(東京都台東区 浅草寺・〜10)
	10日 火			
	11日 水			
	12日 木	7月12日(木) 看護部院内研修 キャリア採用者研 修	7月12日(木) かわさき健康塾 特別イベント 「骨活(ほねかつ)」 講演:原敦・副院 長、田内直恵・管 理栄養士、骨トレ 体操:坂本明紀・理 学療法士 会場:ミューザ川崎 シンフォニーホール	那智の扇祭り(和歌山県那智勝浦町 熊野那智大社)
	13日 金			博多祇園山笠(追い山笠)(福岡市 櫛田神社)
	14日 土			
	15日 日	7月17日(火) 看護部院内研修 中途採用研修	7月17日(火) 看護部研修 看護診断サロン	祇園祭山鉦巡行(前祭巡行)(京都市 八坂神社)
	16日 月			川崎大師風鈴市(川崎市 川崎大師平間寺・〜22日)
	17日 火			
	18日 水			
	19日 木			
	20日 金		7月19日(木) 看護部院内研修 ジュニアI	
	21日 土		7月20日(金) 腎臓病勉強会(ケ アマネなど支援者 対象)	フェスタ サマーミューザ KAWASAKI 2018(川崎 市 ミューザ川崎シンフォニーホール・〜8月12日)
	22日 日			

			神奈川地区	埼玉地区	
7月	23日 月	大暑	7月23日(月) 「地域で考える!心腎連関の会」 講演:小向大輔・腎臓内科副部長 他 会場:川崎日航ホテル	7月24日(火) 看護部研修 レモンナース Summer研修I	
	24日 火	暑さが最高になる			天神祭(大阪市 大阪天満宮)
	25日 水			7月26日(木) 看護部研修 クリニカルレベルⅢ対象者研修Ⅱ	
	26日 木				川越百万灯夏まつり(川崎市 ~29日)
	27日 金		7月28日(土) 心臓血管市民公開講座 「守りたいのは……あなたのハートです。」 講演:小柳俊哉・心臓血管センター長、木山宏・副院長、入江忠信・循環器内科副部長 於:狭山市市民会館	7月28日(土) 納涼祭 南河原公園	
	28日 土			7月31日(火) 看護部研修 ライムナース Summer研修I	
	29日 日				住吉祭(大阪市 住吉大社・~8/1)
	30日 月				川崎山王まつり(川崎市 稲毛神社・~2日、4日~5日)
	31日 火				青森ねぶた祭(青森市 ~7)
8月	1日 水				秋田竿燈まつり(秋田市 ~6)
	2日 木				入間川七夕まつり(狭山市)
	3日 金				仙台七夕まつり(仙台市 ~8)
	4日 土		8月4日(土) 防災訓練(夜間想定避難訓練)		
	5日 日				
	6日 月				
	7日 火	立秋	8月7日(火) 看護部院内研修 ヘルパー研修		
	8日 水	秋が始まる			
	9日 木				
	10日 金				
	11日 土	山の日			
	12日 日				
	13日 月				
	14日 火				
	15日 水	お盆(月遅れ)	8月14日(火) 看護部研修 レモンナース Summer研修Ⅱ		入間納涼花火大会(入間市)
	16日 木		8月16日(木) 看護部院内研修 中途採用研修		鶴見川花火大会(横浜市 佃野公園周辺)
	17日 金				
	18日 土				
	19日 日				

石心会グループ学会発表一覧

2018.3～2018.4

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
Kaneshige Satoh	Plastic Aesthetic Surgery	2018.4.7～8	Awesthetic Plastic Surgery 2018	Current Status of Aesthetic Surgery in Japan	Seoul	Symposium
日月裕司	がん治療センター	2018.4.20～22	The 1st East Asia Esophageal Cancer Multi-Disciplinary Team Academic Conference	Current Status of Surgery and Three-field Lymph Node Dissection for Esophageal Cancer in Japan	中国成都	口演
伊藤慎吾	外科	2018.4.12～13	SAGES 2018	The feasibility of laparoscopic surgery for primary tumor resection in patients with metastatic colorectal cancer	アメリカ	ポスター発表

【全国学会】

長崎弘和	脳神経外科	2018.3.15	第47回日本脳卒中の外科学会学術集会	Hybrid 治療を行った破裂内頸動脈血豆状動脈瘤の1例	福岡	ポスター
長山剛太	脳神経外科	2018.3.16	第47回日本脳卒中の外科学会学術集会	HHTに伴う肺動静脈瘻が原因で発症した若年性脳梗塞の1例	福岡	ポスター
伊藤慎吾	外科	2018.3.8	第54回日本腹部救急医学会総会	保存的に治療した上腸間膜静脈血栓症の1例	東京	一般演題
太田 竜	外科	2018.4.6	第118回日本外科学会定期学術集会	最新医療機器を導入した低侵襲手術センターの開設と実際	東京	一般演題
伊藤慎吾	外科	2018.4.6	第118回日本外科学会定期学術集会	腹膜播種を有するStage IV大腸癌に対するRO切除の意義—大腸癌術後フォローアップ研究会登録症例の検討—	東京	一般演題
鈴木理仁	泌尿器科	2018.4.21	第106回 日本泌尿器科学会総会	去勢抵抗性前立腺癌局所進行に対して放射線併用 CDDP 動注化学療法を施行した1例	京都	ポスター
鈴木理仁	泌尿器科	2018.4.21	第106回 日本泌尿器科学会総会	前立腺癌全摘術後骨盤リンパ漏に対してリビオドールを用いたリンパ管造影を施行した1例	京都	ポスター
善山徳俊	泌尿器科	2018.4.20	第106回 日本泌尿器科学会総会	筋層浸潤膀胱癌に対する放射線併用シスプラチン動注化学療法の初期治療経験	京都	ポスター
田村公嗣	泌尿器科	2018.4.19	第106回 日本泌尿器科学会総会	高度な骨髄抑制を来した結石性腎盂腎炎の3例	京都	ポスター

【講演会】

壺井祥史	脳神経外科	2018.4.28	Kanagawa Neuro-Intervention Seminar for Stroke	Persistent primitive proatlantal artery 起始部狭窄に対してステント留置術を施行した一例	横浜	講演
------	-------	-----------	--	---	----	----

コメディカル部

福永萌恵子	CE科	2018.3.25	第82回日本循環器学会学術集会	心臓カテーテル検査における手術用手袋のピンホール発生率の検討	大阪府	ポスター発表
八馬 豊	CE科	2018.3.25	第82回日本循環器学会学術集会	電子カルテPCを利用したアンギオ経過記録の製作	大阪府	ポスター発表
山田剛士	CE科	2018.3.25	第82回日本循環器学会学術集会	対面チェックを行わない遠隔モニタリングによるReveal LINQ 管理の経験と報告	大阪府	ポスター発表
長澤洋一	CE科	2018.4.21	第24回 日本体外循環技術医学会 関東甲信越地方会大会	CABGおよびdebranching TEVAR後の症例が弓部切迫破裂となり緊急TARを行うも心筋保護に工夫を要した一例	神奈川県	口演発表

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
根本隆章	感染制御科	こういうときはこうする！ 感染症クリスタルエビデンス 治療編	心内膜炎・心血管系感染症	書籍の分筆

看護部

宮口貴子	CCU	Nursing Business 第12巻5号 別冊	異動時の部署把握と課題抽出にデータを活用する	雑誌
------	-----	----------------------------	------------------------	----

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
竹内由紀	看護部	メディカ出版 糖尿病ケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 BRAIN NURSING 2018 vol.34 no.4	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ベリネイタルケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 オペナーシング 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ネオネイタルケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ハートナーシング 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 エマージェンシー・ケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 透析ケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 消化器外科ナーシング 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 整形外科看護 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 眼科ケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 呼吸器ケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ナーシングビジネス 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ニュートリションケア 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 リハビリナース 2号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 産業保健と看護 2号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 YoRi-souがんナーシング 2号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
木村美英	乳腺外来	2018.3.24～25	第40回日本乳腺甲状腺超音波医学会	Triple negative 乳癌におけるタキサン系薬剤の治療効果と超音波像についての検討	東京	一般・口演

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

【講演】

齋藤千尋	透析技術課	2018.3.10～11	日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会	後希釈オンライン(O)HDF + I-HDF の溶質除去効果	東京	一般口演
------	-------	--------------	----------------------	--------------------------------	----	------

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【全国学会】

都築伸介	脳神経センター	2018.3.15～18	第43回日本脳卒中学会学術集会	Modified minisphenoidal approach による中大脳動脈未破裂動脈瘤 clipping の一例	福岡	ポスター
都築伸介	脳神経センター	2018.3.15～18	第43回日本脳卒中学会学術集会	くも膜下出血3	福岡	座長
石原正一郎	脳神経センター	2018.3.15～18	第43回日本脳卒中学会学術集会	血管撮影・血管障害の治療	福岡	座長
近藤竜史	脳神経センター	2018.3.15～18	第43回日本脳卒中学会学術集会	行政と協働で取り組む急性期脳梗塞治療への挑戦	福岡	ランチョンセミナー演者
近藤竜史	脳神経センター	2018.3.15～18	第43回日本脳卒中学会学術集会	虚血・血管内治療1 ステントリトリバー	福岡	座長

【地方学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
都築伸介	脳神経センター	2018.3.31	第135回日本脳神経外科学会関東支部学術集会	急速に進行する四肢麻痺および脳幹障害を呈した頭蓋頸椎移行部硬膜動静脈瘤の一例	東京	発表

【講演】

石原正一郎	脳神経センター	2018.3.3	J&J Codman&CMF 事業部 Award Meeting	脳動脈瘤塞栓術について - 機器の開発 -	東京	講演
石原正一郎	脳神経センター	2018.4.21	第2回埼玉 NPH ミーティング	特発性正常圧水頭症の診療を広めるためにできること	埼玉	座長
大島久智	脳神経センター	2018.4.21	第2回埼玉 NPH ミーティング	アルツハイマーとiNPHの並存する認知症患者に対する治療プラン	埼玉	発表
石原正一郎	脳神経センター	2018.4.28	ストップ脳卒中 脳卒中市民公開講座		埼玉	座長
近藤竜史	脳神経センター	2018.4.28	ストップ脳卒中 脳卒中市民公開講座	脳梗塞にならないためには!?	埼玉	講演
上宮奈穂子	脳神経センター	2018.4.28	ストップ脳卒中 脳卒中市民公開講座	くも膜下出血にならないためには!?	埼玉	講演

診療支援部

藤沢美穂	病理検査室	2018.3.10	第35回埼玉県細胞検査士学術集会	腹腔洗浄細胞診に出現した卵巣未熟奇形腫の一症例（スライドカンファレンス出題）	埼玉	講演
大塚麻実子	病理検査室	2018.3.24	第37回埼玉県臨床細胞学会埼玉県臨床細胞医会学術集会	漿液性癌と明細胞癌の混在した子宮内膜癌の一症例（スライドカンファレンス解答）	埼玉	講演

医療安全管理室

荒木妙子	看護部	2018.3.18	第7回日本医療マネジメント学会埼玉支部学術集会	いのち・暮らし・尊厳をまもり支える地域連携	埼玉	座長
------	-----	-----------	-------------------------	-----------------------	----	----

論文・教科書執筆等

看護部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
荒木妙子	看護部	患者安全推進ジャーナル	事務職員とともに取り組む5S活動	雑誌

◆さやま総合クリニック

学会発表

診療部

【地方学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
菅野壮太郎	診療部	2018.3.18	第7回日本医療マネジメント学会埼玉支部学術集会	地域完結型医療-急性期病院と外来クリニックの現状	埼玉	口演

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【講演会】

池田直史	人工透析内科	2018.3.2	埼玉西部CKD研究会	「CKD診療と医療連携」	埼玉	講演
池田直史	人工透析内科	2018.3.4	第90回大阪透析研究会	ランチョンセミナー3「CKD-MBDの新しい治療戦略 当院におけるエテルカルセチドの使用経験」	大阪	講演
池田直史	人工透析内科	2018.3.27	透析治療を考える会 in 南西地区	「CKD-MBDの新しい治療戦略 当院におけるエテルカルセチドの使用経験」	埼玉	講演
池田直史	人工透析内科	2018.4.26	パーサビブ発売1周年記念講演会	講演3「CKD-MBDの新しい治療戦略 当院におけるエテルカルセチドの使用経験」	埼玉	講演

編集後記

「海神は 海馬を駆りて 夏旺ん」（鷹羽狩行）
 石心会グループは医療の次の時代に向けて、大きく舵を切っているようです。「地域の必要に応じて病院をつくっていくと、こうなった」とは、石井暎禧理事長の談ですが、大切なのは、本当の必要を見きわめる力です。（編集子）

・・・暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海、
 戸惑い騒ぐばかりの鷗らの群れを尻目に、
 海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

本誌タイトル「海燕」は、M. ゴーリキーの散文集《海燕の歌》（1901）に由来しています。その大意は以上のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。